

検討の観点	内容の特色
<p>1. 内容</p>	<p>「何をやるか」が明確、着実に学習を進められる単元構成になっている。 「何のために」「何をやるか」が明確な、学習活動の流れに沿った単元構成である。 すべての単元が同じ流れで、段階を踏みながら、着実に学習を進めることができる。</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す、明解かつ多様な教材である。 それぞれの単元におけるねらいに沿った、明解かつ多様な教材が配置されている。 生徒の学びに向かう力を引き出し、さらに「学びを深める」補充教材も用意されている。</p> <p>豊富な資料や図版・写真、丁寧な手順・事例解説である。 グラフ資料や図版・写真を豊富に掲載し、幅広い読み取りに対応している。 活動教材では、手順を丁寧に解説するとともに、モデル例も多数掲載されている。</p> <p>①学習の見通しと振り返り位置付け、「学びに向かう力」を育成することができる。 ・単元の冒頭、及び単元を構成する教材や学習活動冒頭に「つけたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けている。学習活動をとおして身についた力を自分で診断・評価し、次の学習にいかすことができるような仕組みになっている。 ・学習指導要領に記載された指導事項をふまえて学習の系統化を図り、「基礎・基本」を段階的かつ体系的に、確実に習得できる。また、「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」を軸として、単元の展開自体を丁寧に簡潔に学習のプロセスとして描き出している。 ・学習指導要領で示された「言語活動の充実に資する国語の資質・能力、社会人として生活するために必要な国語の資質・能力の基礎」を育むための基盤となる学習活動を、教科書紙面上に構成している。学習活動をとおして、「他者と協働して課題を解決する力」「情報を見きわめる力」「知識を再構成する力」、そしてそれらを統合して「新たな価値を創造する力」の育成に寄与する単元に構成している。</p> <p>②学び方を学び、言葉で考える力、言葉で考える力、語彙力を拡充することができる。 ・言葉による見方・考え方ははたらかせて、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法として「思考の方法」を示している。 ・学習活動に応じて、「思考の方法」を活用するための手引きを「情報を整理するために」として配置し、単元や教材の学習活動の文脈の中で適切に活用できる。 ・資料編には『『思考の方法』一覧』として、厳選した「思考の方法」を、図を用いてわかりやすく示している。 ・各教材には、理解できる語句と使える語句の量を増やすために、日常生活でよく使われる語を中心として、漢字の音訓の使い分けや、形や読みが似ていることで混同しやすい熟語を中心に示している。 ・各単元末では、現代社会について考える際に必要なさまざまなテーマに関連した「語彙」を取りあげ、語感を磨き、情報内容のより深い理解を目指すことができる構成になっている。</p> <p>③対話と合意形成、そしてコミュニケーション能力の育成のための協働学習ができる。 ・全単元を通じて、学習指導要領の「情報の扱い方に関する事項」を柱にして、「伝え合い」や「合意形成」、「説得」などをテーマとして現代の社会生活で必要となる言語能力に着目した構成を採用し、他者と協働していくことを目指した学習活動が充実している。 ・日常生活や現代社会における課題を取りあげ、対話をとおして考えたり、問題を解決したりする機会と場が充実している。 ・第2単元「パブリックスピーチ」、第5単元「プレゼンテーション」、第7単元の「パネルディスカッション」の教材では、説明する際のコツや議論を取りまとめる際のコツを具体的に示している。 ・各単元には、実社会において必要になると考えられるさまざまな社会的な言語行為を軸として、学習活動を配置している。</p> <p>④多様な価値観、ものの見方や考え方を拡充することができる。 ・価値観が多様化するグローバル社会で求められる幅広い資質・能力の育成につながる題材を精選している。</p> <p>⑤自分の考え方を形成することができる。（思考力・判断力・表現力） ・日常生活や実社会における課題を取りあげ、対話をとおして考えたり問題解決したりする機会と場が充実している。 ・全ての教材において、自分の考えを形成する学習過程を重視している。また、自分の考えをより豊かにし、深めていくことを目指すように、単元の配置に工夫がなされている。また、各単元の末尾に「表現テーマ例集」を置き、単元で学んだことを広げて考えていくための、テーマを配置している。</p>

『新現代の国語』（15 三省堂 現国 705）—検討の観点と内容の特色

	<ul style="list-style-type: none"> ・第8単元では、「自分の考えを書く」ことにとどまらず、書いたものを相互に批評し合い「よりよい書き方」のコツをまとめていく学習活動を設定している。 ●言葉の文化の担い手として、また豊富な読書、伝統的な言語文化の継承・発展を目指すことができる。 ・単元末尾の「ブックガイド」には、単なる「読書案内」ではなく、「表現」「教材」「単元のテーマに関わる本」という分類を基にして、多様なジャンルの読書に誘う紙面を掲載している。 ・第6単元では、情報取集のための資料として読書エッセイ『まなの本棚』の文章を採録するとともに、表現活動として「ブックトーク」を設定し、本を媒介とした豊かな言語文化に触れている。 ・補充教材として使える「学びを深める」の教材群を掲載し、さまざまな文章に触れる機会を提供している。
<p>2. 構成・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●計10単元で、「現代の国語」として求められる「話す・聞く」「書く」「読む」各領域の学習内容を網羅している。（入門1単元／話す・聞く3単元／書く3単元／読む2単元／まとめ1単元） ●それぞれの単元において、「どういう力をつけるか」「そのために何をやるか」を明確化し、各々の学習内容に適した、明解かつ多様な教材を配置している。 ●テーマに沿った教材を複数配置している。そのままでも、選んでもカリキュラムを自由に組み立てられる。 ●各題材に関連したコラム、表現テーマ例集、読書案内で、主体的な学び、および自学自習へとつながっている。 ●「学びを深める」では、各単元のテーマに関連した少し長めの文章を配置している。文章後の「読みナビ」で、内容理解のための問いや課題に取り組める。 ●資料編には、「話し合いの方法」や「思考の方法」、実用的な文章の特徴、言語活動のための用語集など、適宜参照できる情報を豊富に掲載している。
<p>3. 表記・表現、及び指導上の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ●用語・記号は統一しており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●資料編の「思考の方法」などは、文字による解説に加え、わかりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えられるように工夫している。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICTツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
<p>4. ユニバーサルデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUDへの対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。 ●教材で使用している文字にUDフォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。
<p>5. 印刷・造本などの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
<p>【総合所見】</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに分量も適切である。実社会に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫を随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目『現代の国語』の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成すること（実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成すること）に適した教科書である。</p>	